

## 令和5年第3回米子警察署協議会開催状況

開催日時	令和5年9月28日(木)午後2時から午後3時50分まで	
開催場所	米子警察署	
出席者	委員 (定数12人)	黒田会長、熊谷副会長、湯浅副会長 重親委員、本田委員、小西委員、澄川委員、小林委員、 岡田(隆)委員、細田委員、岡田(充)委員、播岡委員 以上12人
	警察	奥村署長、林刑事官、足立警務課長、金氏生活安全課長、 竹矢交通第二課長、藤谷警備課長、警務課員 以上7人
議 事 概 要		
<p><b>1 挨拶</b> 会長、警察署長が挨拶を行った。</p> <p><b>2 電動キックボードの安全利用講習</b> 部外講師による電動キックボードの安全利用講習、試乗体験が行われた。</p> <p><b>3 協議会委員からの意見・提言への対応</b> 前回の協議会において、委員から、 ○ 電動キックボードの安全利用について ○ 交通安全運動ののぼり旗が交差点での視認の妨げになることについて という2点について、意見が出されたことから、その対応の進捗状況について交通第二課長が説明した。 委員からの主な意見、質疑等とそれに対する警察の回答は次のとおりであった。 委員：出した意見に対して良い対応をしてもらった。有り難い。 委員：自動車を運転する側からすると、電動キックボードは挙動が分からず、それが原因で交通事故等に発展するおそれもある。 現在、免許更新等の際に周知しているか。 していなければ、自動車運転者に対する啓発活動の一環として、免許更新等の際に周知してみてもどうか。 警察：免許更新時の講習を活用した電動キックボード安全利用の周知については、今後の参考とするため、関係所属に共有したい。</p> <p><b>4 協議事項（特殊詐欺及び行方不明者の現状と対策について）</b> 生活安全課長が、特殊詐欺及び行方不明者の現状と対策について説明した。 委員からの主な意見、質疑等とそれに対する警察の回答は次のとおりであった。 委員：防災無線やあんしんトリピーメールで、行方不明者に関する事項が手配されるが、身長、体格などの手配では分かりにくい。 個人情報であるため難しいかもしれないが、限定的でもかまわないので、顔写真を提供してほしい。 警察：行方不明者の顔写真は、行方不明者家族から提供を受けた場合、警察の捜索活動に活用している。 同家族から許可が得られれば、捜索関係団体に提供する場合もあるが、許可があることが前提になるので、その点は御理解いただきたい。 委員：捜索に警察犬を活用する場所があると聞くが、効果はあるか。 警察：天候等環境に左右されるため確実に発見になるとは限らないが、効果はある。 委員：特殊詐欺事件で検挙に至った件数は、どれくらいあるか。 警察：詳細な数字は即答できないが、県下はもちろん、管内でも検挙実績はある。 県下では、合同捜査で約4,500万円被害の特殊詐欺事件を検挙した事例も</p>		

ある。

委員：行方不明者が行方不明となる動機、原因については捜査しているか。

警察：家族等関係者からの聴取、遺留物の確認等可能な限りの捜査を行い、動機、原因を把握した上で捜索活動を行っている。

## 5 協議事項（災害対策の取組について）

警備課長が、災害対策の取組について説明した。

委員からの主な意見、質疑等とそれに対する警察の回答は次のとおりであった。

委員：水没車両の救援に従事した経験から、「水位がタイヤの半分以上の高さまで上がると、車体が浮き上がってしまう」と言える。

こういったことも啓発してほしい。

警察：今後の啓発の参考としたい。

委員：警察が災害対策だけでなく、被災者対策も行っていることはすばらしい。

今後とも継続していただきたい。

警察：今後とも継続して、被災者対策を含めた災害対策を行っていききたい。

委員：災害時の自主防災団体、各種行政機関等との連携は図っているか。

警察：各種機関と情報共有し、緊密に連携を図って効果的な活動に努めている。

委員：過去に豪雨災害に見舞われた際、避難するか迷っていたところ、車両による広報で避難を促しており、そのときの人の声による広報で避難を決意できた。

やはり、人の声には力があり、人の声が人を動かすと思うので、その点も配慮しながら災害時の広報活動をお願いしたい。

警察：災害時の情報提供、広報については、各種機関、メディア等を活用しながら、より効果的なものとなるよう実施していききたい。

## 6 要望等への回答

### (1) 特殊詐欺に対する更なる対策について

委員：特殊詐欺は、電話をきっかけに被害に遭っている現状があり、電話への対策も講じられているが、普及していないように感じる。

今後、浸透を図るための方策について聞きたい。

警察：画期的な方策はないが、巡回連絡や交番・駐在所速報の発行等、警察活動による広報、各種メディア等と連携した広報を引き続き実施し、浸透を図っていききたい。

### (2) 行方不明者の内訳について

委員：管内の行方不明者のうち家出として分類されている人数は、何人か。

警察：自らの意思等で行方不明となった人は、13人である。

## 7 質疑応答（警察活動全般に関する事項について）

委員：世間では人手不足、人材難と言われている。警察の採用計画の実情について聞きたい。

警察：警察官採用試験の受験倍率は、かつて10倍という時代もあったが、年々減少し、5、6年前には2倍台となることもあった。

その後、現役警察官を出身学校等に派遣するリクルート活動など各種施策を進めた結果、昨年は5倍程度に盛り返してきた。

今後も各種施策を実施し、受験倍率を向上させながら、より優秀な人材を採用できるように努めていきたい。

## 8 その他

次回協議会は、令和5年11月頃に開催予定である。